

特集① コミュニティ・スクール

子どもの成長を地域の喜びに
地域の支えや温もりを感じる学校に

彦根市では、令和6年度に全小中学校でコミュニティ・スクールを導入することを目指しており、各校でさまざまな活動が行われています。コミュニティ・スクールを導入することで、学校運営に地域の声を積極的に生かし、地域とともに特色ある学校づくりを組織的・継続的に進めていくことができます。

問 生涯学習課
☎ 24-7974 FAX 23-9190

コミュニティ・スクールとは？

コミュニティ・スクールとは、保護者や地域住民が一体となって学校運営に関して話し合う「学校運営協議会」を設置し、地域と連携協働しながら学校運営に取り組む学校のことです。法律に基づいた制度となります。

学校運営協議会と地域学校協働活動

学校運営協議会は、学校や地域住民、保護者などの委員で構成され、学校運営への必要な支援などについて話し合います。ここで話し合われた内容をもとに「できること」を考え、読み聞かせや環境整備、学習支援などといった、「地域学校協働活動」を地域学校協働本部が行っていきます。



インタビュー

学校運営協議会や地域学校協働本部は、地域住民や大学生、保護者、団体や企業の人などで構成されています。実際に地域学校協働活動推進員や学校運営協議会委員として活動している人たちにインタビューしました。

推進員として活動していて、子どもたちが成長するお手伝いができるのは嬉しいですし、やりがいを感じます。地域学校協働活動にも参加していますが、子どもたちにはいつも感謝しています。子どもたちの力をもっと生かしていきたいと考えています。今後、**学校と地域がもっと密接につながることが大事だと思います。**お互いに、まだまだ知らないことがたくさんあるように思います。

私は今大学生で、若い視点で学校への思いを伝えていきたいと思って協議会に参加しています。初めは意見を言いにくいこともありましたが、皆さんサポートしてくださって、言えるようになりました。**子どもたちに一番近い立場として、他の委員の皆さんとは違った視点で意見できる**ので、議論が活性化するのではないかと思います。母校がどのように変わっていくのが楽しみです。



城西小学校
学校運営協議会委員
やまね りょうた
山根 良太さん



城西小学校
地域学校協働活動推進員
あおやぎ くみこ
青柳 久美子さん

コミュニティ・スクールにはいろんな魅力があります

学校

- ・子どもと向き合う時間が増える。
- ・幅広い教育ができるようになる。
- ・地域人材を活用することで教育活動が充実する。

地域

- ・経験を活かし、子どもたちと触れ合う中で生きがいややりがい生まれる。
- ・地域の活性化につながる。
- ・学校を中心とした地域ネットワークが形成される。

子どもたち

- ・学びや体験活動が充実する。
- ・地域への愛着や理解が深くなる。
- ・自己有用感が高まる。

保護者

- ・学校や地域に対する理解が深まる。
- ・地域の中で育てられているという安心感が生まれる。
- ・保護者同士や地域の人々の人間関係が構築できる。

コミュニティ・スクールの取り組みを紹介します！

「中学生の地域貢献に向けての 地域貢献意見交流会」 が行われました



意見交流会は彦根市立西中学校で行われました。次世代の担い手となる中学生が持つ力やアイデアを活用し、活動の主体としてどう取り組んでいくか、中学生・小学生と地域の人々が一緒に話し合いました。

意見交流会で発案された 「地域の方々と子どもたちがみんなで 楽しむラジオ体操会」が実現！

意見交流会で「西中学校区の地域がひとつになれるイベントを！」という思いで西中学生が発案した企画が実際に行われました。西中学校区の明るい未来を感じさせる、気持ちの良いひとときとなりました。



参加した生徒たちの声



なかた うた
中田 宇汰さん



うすい かのんさん
臼井 かのんさん

西中学校では、地域貢献として、これまでクリスマスカードやお正月カードの配布、挨拶運動などを、地域の方と一緒にしてきました。地域の方と一緒に活動することは楽しいです。

今回、地域の方と意見交換をし、自分の意見を否定せずに聞いてもらったことがうれしかったです。市民運動会を開催してほしいと軽く言ってしまったけれど、準備など、**地域の一員として、中学生ができることを協力してやっていきたい**という思いになりました。

一緒に活動しませんか？ ～地域学校協働活動ボランティア～

各小・中学校では、地域学校協働活動を支援していただくボランティアを募集しています。詳しくは地域の各小・中学校の教頭や地域連携担当教職員までお問い合わせください。

【HP 番号：2276】

